

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 635 号	氏名	Muhareva Raekiansyah
学位審査委員	主 査 西田 教行 副 査 皆川 昇 副 査 安田 二郎		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、血管内皮細胞へのデングウイルス直接感染時の細胞への影響を調べることで、デング出血熱あるいはデングショックシンドロームに於ける血管透過性亢進機序を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ヒト臍帯血管内皮細胞培養系 (HUVEC) を用いて、数種のデングウイルス株の感染を試み、ウイルスの増殖をウイルス学的手法で定量評価し、その際の細胞への影響を分子生物学的手法にて遺伝子発現パターン解析、内皮細胞のバリア機能解析等を行い、コントロールとの比較を統計学的解析法で評価しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、HUVEC はデングウイルスに対し感受性であり、ウイルス増殖可能であることを明らかにした。期待に反して、ウイルス感染後、内皮の物質透過性は継時的に低下し、TNFα 刺激に対しても低感受性へと変化し、血管内皮細胞への直接的デングウイルス感染では、血管透過性がむしろ低下する可能性が高いことを見だし、予想に反した本実験結果の意義について文献的考察を行っている。今後のデング熱病態解明への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はウイルス学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			